

結婚の危機 (中)

結婚の応急処置

アンディ美湖

状況はあまりにひどくて眉をひそめました。彼らの結婚が惨めなのは明らかでした。しかし、妻の言葉は、いかにひどいかを如実に表していました。「彼の声を聞いただけで本当に吐き気がしてくるわ。」彼女の言葉と同じ位ショックなのは、彼らがクリスチャンと知っているからです。

しかし、夫婦のショッキングな話は珍しくありません。実際、それらはふつうになってきています。結婚の惨めさと失敗は、テレビの有名人のお笑いのネタになっています。悲劇的なことにその点においては、教会のリーダーの間でもあります。私たちは認めたくありませんが、結婚を顧みないのは、社会においてと同じくらい教会においてもあるのです。もちろん、顧みないことは問題を引き起こし、しばしば、一見克服できないような問題にみえます。もう希望がないかのように思えるのです。しかし、神様の世界は、常に希望があります。何故なら、神様において、奇跡は常に可能なからです。今日、あまりに多くの人が希望を、奇跡を、神様を忘れてしまっています。皮肉にも信仰の人といわれる人々でさえ。

同時に私たちは、現実的でなければなりません。日本で、心や家庭を顧みない程度は驚くほどです。結婚と家庭は、まさに危機的割合で崩壊しつつあるでしょう。では、何がなされるべきでしょうか。

アメリカでは、あらゆる職業のなかで、最も離婚率が高いのは軍人です。軍人たちの結婚は、途方もないストレスのもとにあります。軍人家族は、しばしば死と危険のストレスに直面し、その生活は、度重なる引越し、家族との長期間にわたる別離。半年、またそれ以上家族と離ればなれになることもあります。階級が低いと、給料が安く、経済的にも困難です。それで彼らには、政府の食料配給券が与えられます。メディアが、彼らの駐在による国の防衛と安定よりも、たまに起こる犯罪を集中的に報道すると、(沖縄のように)感謝されることもありません。

私は直接、多くの基地で、軍人の結婚の大変な状況を見てきました。基地のチャプレンは膨大な必要に圧倒されています。以前、カンファレンスをするため

に到着したとき、空港で待ち合わせをしていたチャプレンは、自殺をしようとしている空軍兵に携帯電話でとどまるように説得していました。その男の妻がついさっき出ていったというのです。その週末私は、基地内での自殺の問題に当惑した司令官とチャプレン達に会いました。殆どの自殺は、家族の問題に関わっているようです。ひとりのチャプレンは、夫婦の仲裁を正直に「我々は、ただ被害対策をしようとしている」と説明しました。

軍隊の介入における被害対策は最後の方策です。被害対策を開始するのは、高い死傷者率が確かで、大多数が失われることを意味し、焦点は、大量の破壊を防ぐためにいかに大惨事を押さえるかということになるのです。それは、実際的なアプローチですが、同時に苦痛を伴うものです。何人救うことができるでしょう？8割？それとも5割？もっと少ないかも。被害対策——今日、日本で必要な結婚の仲裁のアプローチかもしれません。暗い見方ですが、現実的な見方です。というのは、以前、言及しましたが、毎年離婚が記録を更新し、ここ10年で離婚が倍増し、およそ40%の結婚が離婚におわり、結婚の不満足が蔓延しているという事実と直面しているだけでなく、これらが実際、勢いを増しているのです。ですから、問題は、いかに多くの人を助けられるか、どうやって大多数の人々に、希望を与えることが出来るかになってくるのです。

しばしば人々は、私を結婚カウンセラーと呼ぼうとします。彼らは、私が部屋でカップルと座り、セラピーをすることを想像します。実際は、そうすることはあまりありません。たぶん皆さんは、私が超簡潔セラピーに賛同しているというでしょう。それを言うなら、イエス様も大抵そうでした。私の理解では、日本の治療社会は、サイコセラピー（精神治療）が優勢であるようです。多くの時間をかけ、まるで感情の考古学のように深く掘り起こすタイプ：現在を理解するために、掘り起こし、過去の骨と破片を分類し吟味するのです。それも良いかもしれませんが。しかし、危機において、状況は被害対策が必要であるとき、それは実際的ではありません。そうするための時間が足りません。その点では、あまりに長く問題をなおざりにしてきた夫婦が、崩壊寸前のとき、（恐らく、すでに一方が離婚届にサインしている）敏速な変化が必要です。彼らは、今希望が必要なのです。3ヶ月後ではなく。

そこで、2つの質問があります：多くの人にいかに助けをあたえるか、そしてどのように今助けられるかです。答えは簡単に聞こえるかもしれませんが、私は最善の方法は次のようなものと堅く信じています。すなわち、出来るだけ早く否定的なシステムをこわして肯定的なものに代えることです。では、システム

とは何でしょう？システムによって、私達は関係におけるやりとりのパターンが決まるのです。否定的なシステムでは、人が不幸で感情的に不健全です。否定的なシステムにおいては、一方が何か否定的なことをすると、相手が否定的に反応します。そうして、前者が再び何か否定的なことをするのです。小さい子供は自然にそうするでしょう。ある子が相手をたたくと、その子はたたき返します。すると、最初の子はもっとひどくたたか、二人とも怒りを押し込め、後で仕返しすることを考えるかもしれません。子供がすることを大人もします。夫は妻を顧みない。それで妻は口うるさく文句を言う。すると夫はもっと妻を避け、妻はさらに小言の燃料を貯める。または、妻が夫を顧みない。それで夫は妻を苦々しく思う。二人は会話を避け、互いにもっと疎遠になる。これらは否定的なシステムです。そしてこのシステムが下方に渦巻くとき、お互いにさらに否定的になり、さらに距離をおき、さらにそむくのです。ひとつの悪い行動がもうひとつと強まるのです。確かにそれは自然なことと道理づけようとしてはありますが、私達は自然の生き方をするために呼び出されているわけではありません。考えてみましょう。結婚問題は罪の問題であり、霊的な問題なのです。離婚を考える人達は、しばしば新しい伴侶を必要としますが、大抵彼らに必要なのは同じ伴侶との新しい結婚なのです。そして、それは疑いもなく霊的な変化を意味します。

この記事のはじめに、希望を与え、敏速な変化をもたらすには、サイコセラピー（精神治療）は最善の選択ではないと言及しましたが、このようなシステムズセラピーが今日、西洋で優勢になってきています。システムズセラピーはシステムを狂わせる否定的なシステムに有利な変化をもたらし、新しいシステムの扉を開くことで、全く新しい結婚となるのです。ものの見方をきちんと正してみましよう：私達は決して伴侶を変えられません（それは神がなさることです）が、システムが続くことを拒むことで、システムを変えることができるのです。

システムに変化をもたらす良い方法があります。しかしそれを取り入れているクリスチャンリーダーは少数です。私がよく使う 3 つを記します。悪い状況が一晩で変わります。この処方計画をたとえ 1 週間でもやり続けたら、大きな変化に気づき、大きな希望をもつことができるでしょう。

1. あなたの伴侶をキリストの目でみます。これをするために、相手が寝ているときか、写真をながめます。そして、キリストが見るように見させてくださいと願います。あなたが今まで見ていたのと違った見方が出来

るようになるでしょう。今まで見落としていた良いことに気づくようになるでしょう。苦々しさが哀れみと親切に変わりはじめるでしょう。あなたは、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのかわからないのです。」と、キリストが自分を十字架につける者にたいして言った同じ言葉を相手のためにいうかもしれません。あなたの伴侶は敵ではありません。真の敵があなたを盲目にし、嘘を信じ込ませているのです。しかしイエス様がそれを明らかにしてくださいます。

2. あなたの伴侶のために祈ります。相手が変わるようではなくて、相手の幸福のために、相手の必要が満たされるように、相手が神様を求めるように、そして、神様に大いに祝福されるように祈るのです。かつて私は、お互いの人生をめちゃくちゃにしようとしている‘クリスチャン’カップルのカウンセリングをしました。彼らは山ほど問題を抱えていたのですが、すべては霊的な問題に由来していたようです。私は、もし夫が神様に心を開いたら、そのシステムは揺るがされ、殆どすべてのことが解決するのでは、と感じました。ですから、夫に尋ねました「あなたは妻のために祈りますか？」彼の返答が彼の霊的問題の深刻さを表していました。「やあ、あいつのために祈るよ。地獄に行くように！ってね。」もし、伴侶の幸福のために祈れないなら、真の問題は明らかです。祈りは、基本的には、神様を、相手を、状況を変えることなく、自分を変えることなのです。祈りは、私達を神様の通り管とし、人々に触れ、世界を祝福するのです。どんな否定的なシステムも混乱させられるはずですよ。

3. 何か親切をします。私は、北海道から沖縄まで何百何千のカップルに会って、惨めなカップルがしていることと、生き生きしたカップルがしていることの間、とてもシンプルな違いがあることに気づきました。毎日、惨めなカップルはお互いにあることをし、毎日、生き生きしたカップルもお互いに何かをしています。惨めクラブは、何か不親切をし、ハッピークラブは正反対なことをします。言葉と行為を含め、親切は「あなたが好き」「あなたの考えや感情が大事」「あなたの味方」と伝達します。小さいことで、ハッピーカップルは、さわやかな小川の流れのように、結婚のなかで親切をしつづけます。庭に水をまき、花が開きます。二人にとって居心地の良い場所になります。私は、結婚カンファレンスのなかで、男性が妻にバラの花を捧げるとき、幸せの涙が積もった無関心を洗い流し、また、伴侶に互いにラブレターを書いたとき、彼らの状

況が一晩で変わっていくのを見てきました。

あるカップルは決して習慣から抜け出せません。明らかに効果はないのに古いシステムのがらくたを繰り返しているのです。あるハッピーでないカップルの夫が、暑い日にいつもシャツを着ないでテーブルで食事をしていました。妻はそれが大嫌いで、食事のときはシャツを着るように口うるさく言いました。妻がくどくど言えば、夫は抵抗しました。それで妻は40年間くどくど言ったのですが、状況は決して変わりませんでした。ある日、妻はくどくど言ってもだめだと気づいたのです。(やっ！)それで、妻は自分のシステムを変えたのです。夫がシャツなしでテーブルに来たとき、妻は部屋を出て、真っ裸になって部屋に戻り、食事のテーブルに座ったのです。夫がチラッと見て、急いでシャツを着、もう2度とシャツなしで食事に来ることはありませんでした。このお婆ちゃんが食事のときに服を脱ぐことが'親切'と言えるかどうか、まあ、、想像しないほうがいいでしょう。しかし、効果があったのです。それは40年にわたる否定的なシステムを変えたのです。ですから、何か親切なこと、何かショッキングなこと、とにかく何か違うことをするのが、良い戦略でしょう。

ひとつのことは明らかです。この時代——希望が欠けているのです。この世には何もなく、毎週毎週教会に来る多くの群衆も何も持たずに帰ります。非常に多くの家庭が疑いもなく失われます。しかし、もし私達が、希望をすばやく、できるだけたくさん、この悲観的な戦場にふき込むなら、古いシステムが壊れ始め、奇跡が溢れるかもしれないのです。

(訳: 美湖純子)